

【林道事業（市町村事業） 再評価審議資料】

（岐阜県事業評価監視委員会運営要領第6に基づく審議）

- 再評価対象箇所一覧表 . . . p 1
 - 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について . . . p 2～3

- 平成30年度 再評価実施箇所
 - 公共林道事業
 - 6) 森安～万波（飛騨市） . . . p 4～10

平成30年度 再評価対象箇所一覧表

[飛騨市]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費 (百万円)	実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)		経過年数 (H30.3現在)	政策との 位置付け	関連事業の進 捗状況	社会経済情勢 等の変化及び 地元の意向	環境との調 和への配慮 事項	事業費縮減	費用対効果 果分析	対応方針 (案)	特記事項		
						全体事業量	実施済事業 量		事業 実施 率	用地補償費	工事費等	用地補償費										工事費等	用地補償費
6	公共林道事業 (地方創生道整備 推進交付金)	森安～万波	飛騨市	S60	H42	11,757	8,131	69.2%	2,285	1,368	59.9%	33	飛騨市第二次 総合計画 飛騨市森林整 備計画	-	事業継続・早 期完成を希望	間伐材の利 用・リサイク ル製品の活 用	計画線系の 見直し し型擁壁の活 用	(1.3) 1.3	継続				

費用対効果分析:()は前回再評価時の投資効果率

平成30年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	公共林道事業（森林環境保全整備事業・農山漁村地域整備交付金事業 地方創生道整備推進交付金）
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。 森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。
	採択基準	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹道 地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が計画されていること。 ○管理道、施業道 地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が計画されていること。
	概要（メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> 森林基幹道開設 森林管理道開設 森林施業道開設
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目 うち貨幣換算する項目（B）	<ul style="list-style-type: none"> ○木材生産等便益 <ul style="list-style-type: none"> 木材生産等経費縮減便益 林道整備による木材の搬出・輸送経費の縮減効果 木材利用促進便益 切り捨てとなっていた間伐材が、林道整備により搬出・利用される効果 木材生産確保・増進便益 林道整備により新たに伐採が促進され生産・利用される効果 ○森林整備経費縮減等便益 <ul style="list-style-type: none"> 造林作業経費縮減便益 林道整備により造林等作業員の歩行時間等の縮減効果 森林管理等経費縮減便益 林道整備により森林管理の巡視・普及指導を行う者の歩行時間縮減効果 森林整備促進便益 造林・保育が不十分となっていた森林が、林道整備により森林整備が行われることによる「水源かん養」「山地保全」「環境保全」の効果 ○森林の総合利用便益 <ul style="list-style-type: none"> ふれあい機会創出便益 林道整備により森林等とのふれあいの機会が創出される効果
		その他項目
	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> 費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費＋森林整備費 単価の基準：評価を実施する年度 現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） 評価対象期間は事業完了後40年間

費用 便 益 比 の 基 準	費用便益比（B／C）が1.0以上
----------------------------------	------------------

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	6	事 業 名 <small>（路線・河川名等）</small>	公共林道事業（地方創生道整備推進交付金） 林道 森安～万波線		
事業実施箇所	起点 飛騨市宮川町森安 終点 飛騨市宮川町万波	事業主体	飛騨市		
採択年度	昭和60年度	完了予定年度	平成42年度		
再評価の実施基準	再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	<p>飛騨市宮川町は、総面積19,989haのうち約96%が森林であるため、低コスト林業経営の展開や森林の適正な管理が必要である。森安～万波線は宮川町の森安から万波に至る森林の路網の骨格となる幹線林道を開設することにより、森林施業の低コスト化による林業経営の効率化を図ること、適切な森林整備を行うための基盤とすること、集落と万波農地へのアクセスを改善し、地域産業に資することを目的とする。</p>				
事業概要	<p>幅員 4.0m 全体計画延長 11,757m 全体事業費 2,284,823千円 利用区域森林面積 717ha 同蓄積 151,648m³</p>				
概要図	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 国有林利用区域 民有林利用区域 実施区間 未実施区間 </div>				



公共林道事業(地方創生道整備推進交付金)

林道森安～万波線の再評価

飛騨市 平成30年8月



飛騨市の政策における位置付け

飛騨市第二次総合計画(後期)

(平成27年度～31年度)

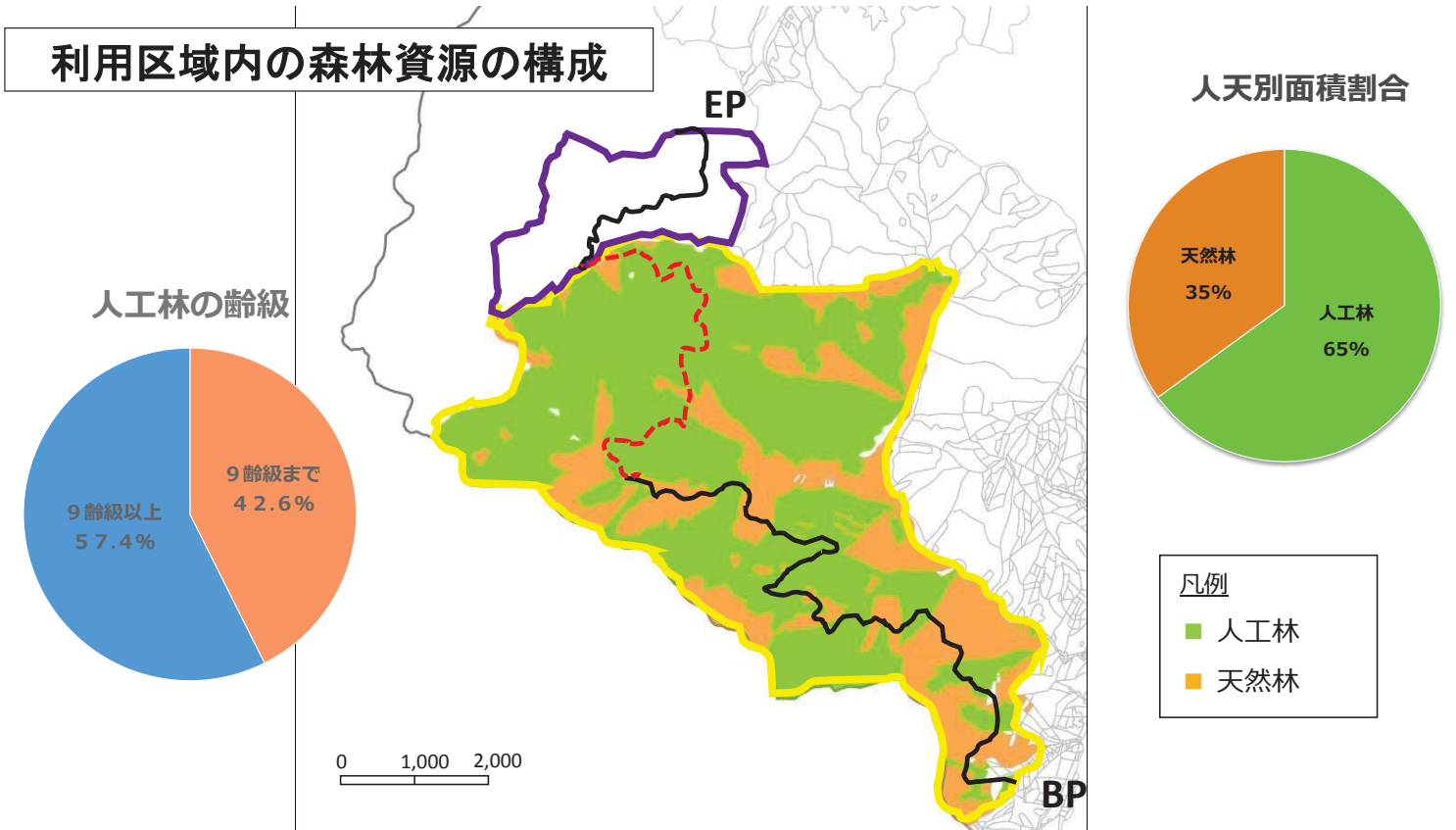
緑豊かな森林づくりを推進するため林業経営の基盤の充実
・林道森安万波線開設工事の継続

飛騨市森林整備計画

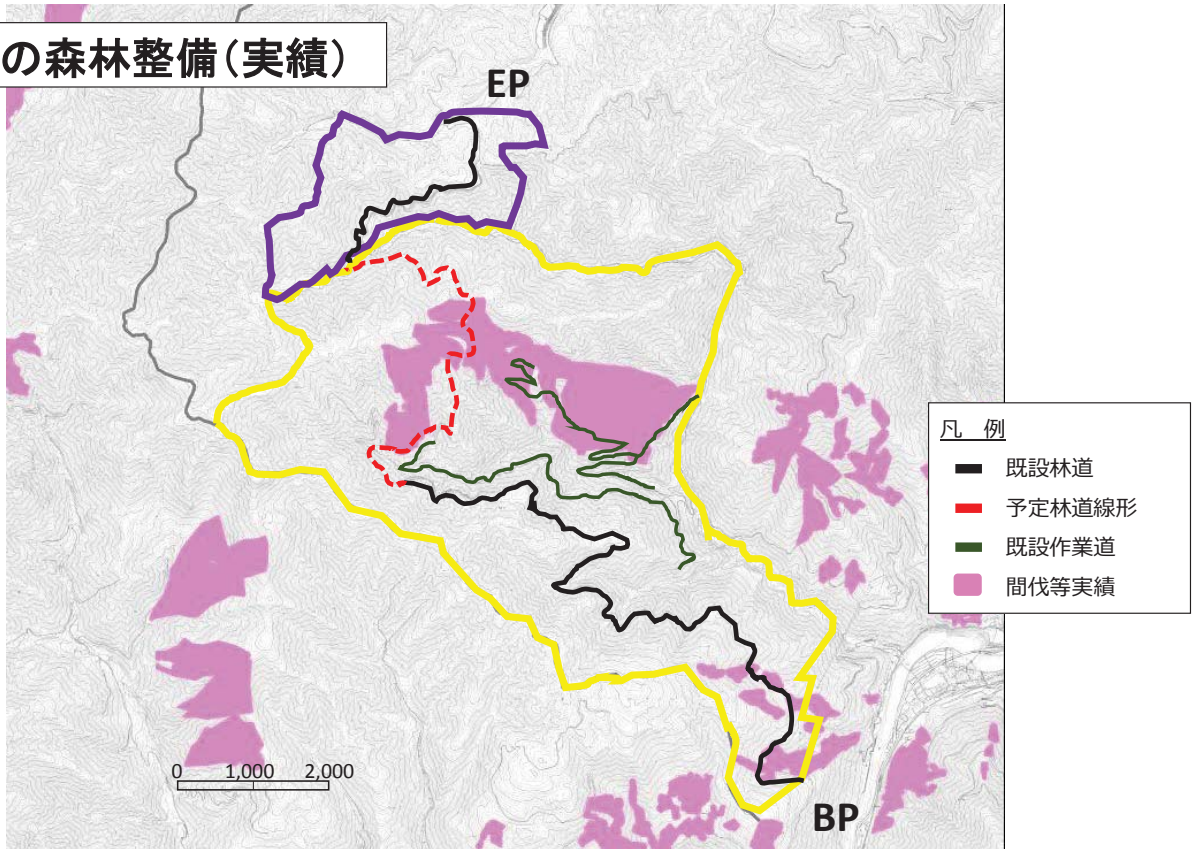
(平成27年度～37年度)

間伐による森林整備を進め木材の有効利用を推進

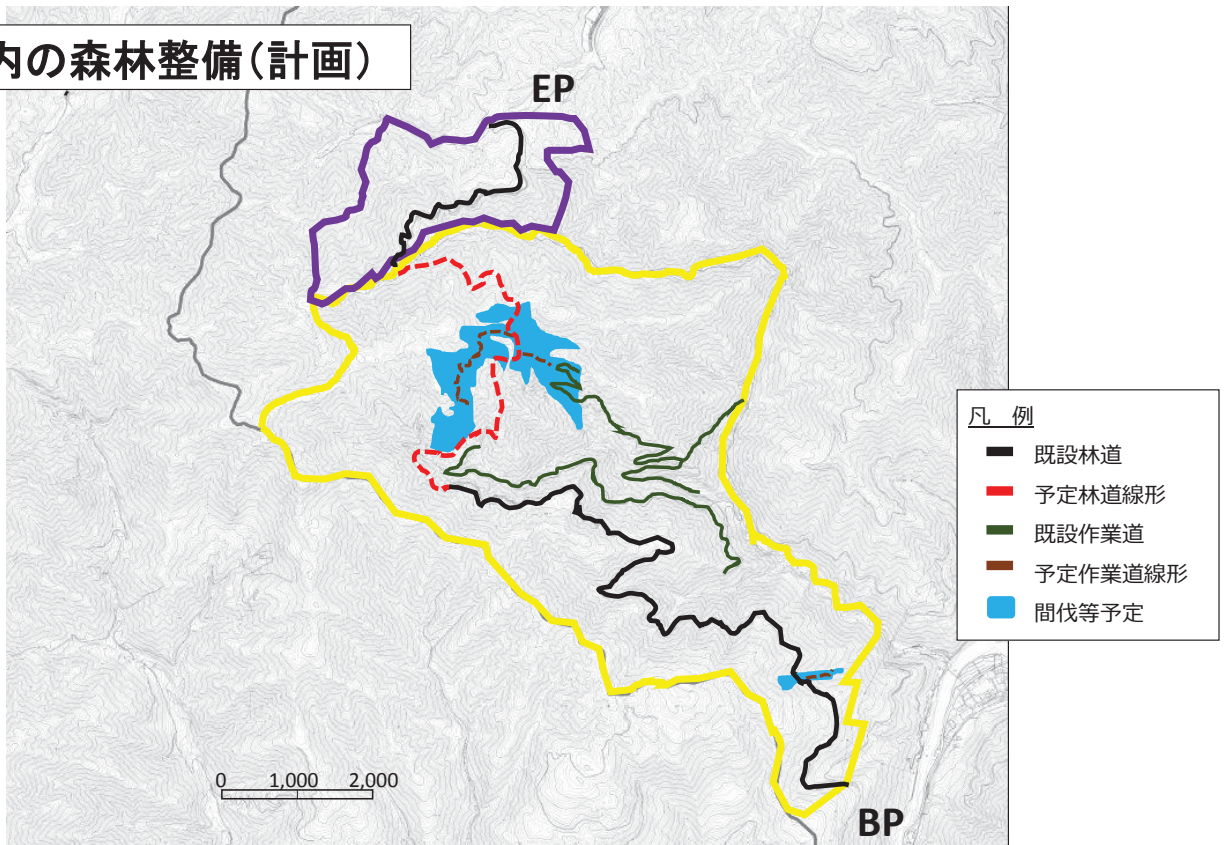
路網整備・間伐の推進



利用区域内の森林整備(実績)



利用区域内の森林整備(計画)



費用対効果の分析

事業の効果

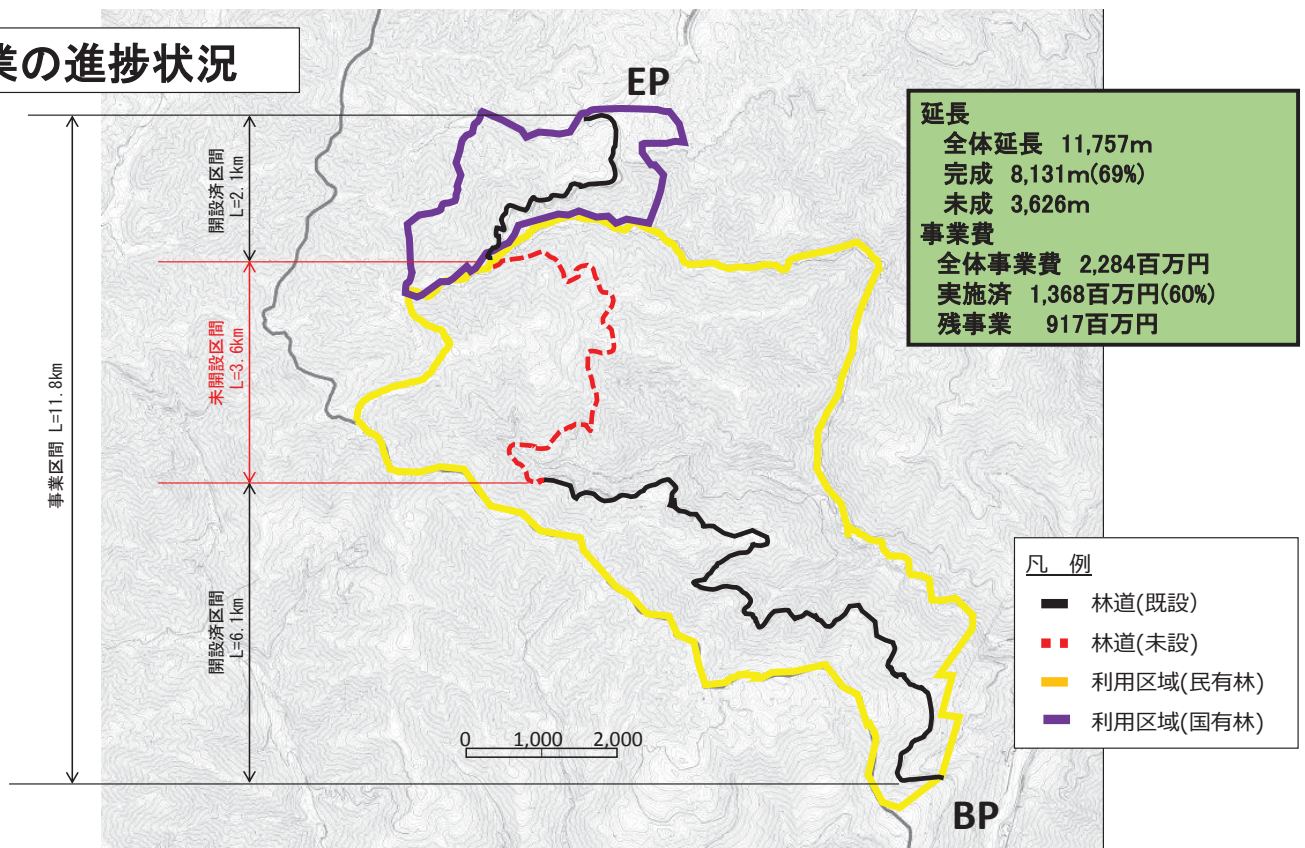
- ・森林整備経費縮減等便益 効果全体の56.5%
- ・木材生産等便益 効果全体の43.0%
- ・その他の便益 効果全体の0.5%

投資的效果

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.3$$

前回評価時
(H25年度)
1.3

事業の進捗状況



社会経済情勢の変化

森林資源の充実

利用可能な林分の増加により、施業の集約化を促進し積極的に搬出することが求められる

新たな木材需要の創出

- ・合板工場(森の合板工場)
中津川市H23年4月稼動 木材使用量10万m³
- ・大型製材工場(長良川木材事業協同組合)
郡上市H27年9月稼動 木材使用量5万m³
- ・大型製材工場(ウッドリンク㈱)
富山県射水市H22～ 木材使用量4.5万m³

環境への配慮・コスト縮減



環境への配慮

- ・リサイクル認定製品の活用
(緑化基盤材)
- ・間伐材を利用
(木伏工、木柵工)



コスト縮減への取り組み

- ・L型擁壁、補強土壁工の活用
(現地発生土利用)
- ・盛土工
(現地での残土処分)

対 応 方 針

- 搬出間伐を促進し、木材生産を強化する
- 地域の住民は事業の継続・早期完成を強く要望



継続して事業を実施することが妥当